

企画展「やまぐち植物さんぽ【その2】
～絶景×植物×「お宝」標本～」の概要報告

杉 江 喜 寿

Summary report of exhibition“the Botanical stroll in Yamaguchi【part2】
-breathtaking view×flora×invaluable specimen-“

Yoshihisa SUGIE

山口県立山口博物館研究報告

第52号(2026年3月)別刷

Reprinted from

BULLETIN OF THE YAMAGUCHI MUSEUM

No.52(March 2026)

企画展「やまぐち植物さんぽ【その2】 ～絶景×植物×「お宝」標本～」の概要報告

杉江 喜寿¹⁾

Summary report of exhibition “the Botanical stroll in Yamaguchi [part2] -breathtaking view×flora×invaluable specimen-”

Yoshihisa SUGIE

1 はじめに

当館の展示は、規模の大きなものから特別展、企画展となっており、特別展は年1回のみ（夏季に）開催する大規模なもので、企画展はそれに次いで規模で各担当が持ち回りで年に数回開催している。

今回の企画展「やまぐち植物さんぽ【その2】～絶景×植物×「お宝」標本～」は、2024年4月から6月まで開催した植物分野の企画展「やまぐち植物さんぽ【I】～植物って、すごい、おもしろい、ふしぎ！～」の続編として急遽開催したものである。

企画展の表題が最初から【I】となっているのは、企画の段階で、とても1回の企画展だけでは、これだけの内容を展示することができないことが明らかだったために、開催段階では次回がいつになるかはわからない状態ではあったが、今回の展示はシリーズの前編（または1回目）という位置付けを明確にしておいて、次回以降への期待ももってもらえるようにしたからである。

ただし、看板などを実際に作製しようとする、【I】と【II】ではなかなか見分けがつきにくいことから、2回目の本企画展では【II】でも【そのII】でもなく、【その2】と表記することにした。そのため、便宜上【I】の方も、今後は【1（または、その1）】と表記する。

今回の企画展のコンセプトも前回同様に、「植物の世界は奥深く、知れば知るほどすごい、おもしろい、ふしぎな世界が広がっていて、山口県やその周辺にも興味深い植物がたくさんある」ということを知ってもらうための第1歩としての位置づけである。何より、植物の世界に親しみをもってもらいたい、そしてそれらの植物が生息している自然環境にも目を向けてもらいたい、ということで企画している。

そのために、本展では、山口県内の植物を中心しつつ、山口県の周辺地域として今回は中国地方（鳥取県、島根県、広島県）の植物、さらに国内の興味深い植物の生育場所の1つとして鹿児島県の屋久島と種子島の植物も紹介することにして、そのすごさやおもしろさ、ふしぎさをそれらの植物が生育している地域の美しい景観とともに紹介した。

1) 山口県立山口博物館（植物）

これは単なる植物単体として植物に親しんでもらうのではなく、その地域独特の自然環境や景観があってこそその植物であり、1つの珍しい植物だけに囚われて、まさに「木を見て森を見ず」の状態になってしまわなければならないからである。

また、偶然ではあるが、【1】で展示した牧野富太郎(1862-1957)などの、すでに所蔵が記録されていた明治時代の貴重な植物標本の他にも、ここ数年の当館の植物サポーターの皆さんの活動の成果として、一部未整理だった収蔵資料の植物標本の中に、南方熊楠(1867-1941)やフランス人宣教師で植物学者のフォーリー(Urban Jean Farie 1847-1915)などが植物研究の黎明期に作製した貴重な植物標本も含まれていたことが明らかになった。また牧野富太郎の標本も今回新たに確認できた。このため、今回はこのように存在が新たに確認できた植物研究史の上でも貴重な資料である収蔵資料も併せて初公開として展示した。

さらに、子どもたちに直感的に植物のふしぎさやおもしろさなどを感じてもらうために、前回同様に世界のおもしろい植物の果実や種子の第2弾の展示や実際にそれらにふれることができるように展示会場内でのミニ体験会の実施、参加するとカードがもらえる植物クイズの実施、展示期間中の教育普及講座の実施など、さまざまな工夫をした。

2 展示時期・場所など

- (1) 期間 令和7年(2025年)3月25日(火)～6月1日(日)
- (2) 場所 山口県立山口博物館 3階展示室(旧講堂)
- (3) 主催 山口県立山口博物館
- (4) 後援 一般社団法人山口県観光協会、公益社団法人鹿児島県観光協会

3 展示構成

(1) 展示の趣旨(開催のあいさつより)

植物の世界は奥深く、知れば知るほどすごい、おもしろい、ふしぎな世界が広がっていて、山口県やその周辺県にも興味深い植物がたくさんあります。

本展では、2024年春の企画展「やまぐち植物さんぽ【1】～植物って、すごい、おもしろい、ふしぎ!」では紹介しきれなかった、山口県や周辺県などの植物のすごさやおもしろさ、ふしぎさをそれぞれの地域の美しい景観とともに紹介します。

また、当館の収蔵資料から新たに発見・確認されたものなど、植物研究の「お宝」とも言える植物標本の一部を初公開します。さらに、屋久島・種子島や世界のおもしろい植物、身近にあるさまざまなふしぎな植物などを展示・紹介するとともに、関連イベントとして講座、ミニ体験なども実施します。

今回の展示で、一人でも多くの方が植物の世界により興味をもつとともに、自然を大切に作る心を育てていただけると幸いです。



写真1 会場全景1 (入口)



写真2 会場全景2

(2) 展示内容

・展示の導入

展示の導入の1つとして、前回よりもさらに目立つ位置として、展示室の入口前（3階体験コーナー内）に、今回展示する植物のうち親しみのある人が多い国指定天然記念物の植物を、短焦点プロジェクター用いて大画面に投影し、会場内に誘導するようにした。これは展示会場が当館3階の楽しい体験コーナーの最も奥にあり、これまでの経験では残念ながらなかなか会場に気づきにくいことと、せっかく入口に来てでも入口から会場内に足を踏み入れにくいという状況が予想されるために、前回からさらに工夫したものである。

そしてそのスクリーンの周辺に、クイズ用紙や観光パンフレット、子ども用の塗り絵などを配置し、会場入り口から中に向かって、前回展示した絶滅危惧種などの画像で会場内に誘導するようにした。



写真3 会場入口1



写真4 会場入口2

① 「初公開！明治時代からの「お宝」植物標本」

今回は、第1章として展示室に入って一番目立つ場所に「お宝」植物標本を展示した。これは、長年当館の植物収蔵室に保管されていた標本の中で、恐らく一度選別されて重要なものを配架し、それ以外の標本を保管していたと思われる段ボールの中を、ここ数年のサポーター活動として念のために再確認したところ、改めてその存在が確認できた標本である。段ボール5、6箱の中にあつた数百の標本を点検すると、明治時代以降のさまざまな植物研究者たちが作製した植物標本が多数確認できた。これらは一度選別からもれたものが多いが、それでも、牧野富太郎をはじめ、南方熊楠、この南方と牧野を取り持った宇井縫蔵（1878 - 1941）、京都大学総合博物館に数万点の標本が収蔵されているフランス人宣教師で植物学

者のフォーリー (Urban Jean Farie 1847-1915) らを初めとして、山口県にも直接関わっている二階重楼 (1859-1932)、中井猛之進 (1882-1952 元国立科学博物館館長など)、児玉親輔 (1884-1944) などが作製した植物研究の黎明期からの貴重な「お宝」植物標本を改めて確認できた。当館の収蔵庫には以前からそれぞれが作製した植物標本を保管してあったが、今回それらに追加して新規で見つかったのである。これらは、植物名などなにかのラベル情報が不足していたものが多く、選別が後回しになって現在に至っていたものと推測される。

また採集者名の記載はなかったものの、明治時代に非常に交通の便が悪かった小笠原諸島、屋久島などの島嶼部や本土でも訪問が困難であった中部地方、東北地方などの山岳地帯の希少種の標本なども併せて確認することができた。

それらの中から、今回は採集者名が明確なものでは牧野富太郎2点、南方熊楠1点、宇井縫蔵2点、フォーリー2点、中井猛之進1点、の計8点、採集者不明ながら資料としての価値は高いと思われるものから小笠原諸島、立山、白山の計5点、合計13点を展示した。



写真5 お宝植物1



写真6 お宝植物2



写真7 お宝植物3



写真8 お宝植物4

② さあ、植物さんぽに出かけよう!

前回同様、次章の「やまぐちあちこち植物さんぽ」のダイジェスト映像を作製し、導入分として、来館者の期待値をあげるとともに、自然や植物が印象に残るように、プロジェクターを用いて大画面で投影した。

③ やまぐちあちこち植物さんぽ

今回は、県内の自然豊かな6地域(9地点)の植物をそれぞれの地域の絶景とともに紹介した。

1. 上関町(長島など) (19種)、
2. 周防大島町周防大島 (24種)、
3. 岩国市寂地山・寂地峡 (18種)、
4. 萩市の見島 (15種)と青海島 (9種)
5. 萩市の笠山 (9種)と萩市清ヶ浜 (8種)と萩市萩城周辺 (9種)
6. 山口市(萩市も含む)長門峡 (20種)、であり、延べ植物種計131種を紹介した(前回は98種)

海岸から草地、山地と幅広い環境の地域を紹介することで結果的に前回の「瀬戸内海国立公園」「北長門海岸国定公園」「秋吉台国定公園」に加えて「西中国山地国定公園」の植物をそれぞれの絶景とともに紹介することができた。

131種のうち、13種については、新たに作製したドライフラワーを展示した。上関と周防大島では、明治以前の植物研究の歴史の一部として、江戸時代にシーボルト(Ph.



写真9 あちこち植物さんぽ1



写真10 あちこち植物さんぽ2



写真11 あちこち植物さんぽ3



写真12 あちこち植物さんぽ4



写真13 あちこち植物さんぽ5



写真14 あちこち植物さんぽ6



写真15 あちこち植物さんぽ7



写真16 あちこち植物めぐり8

F.v.Siebold: ドイツ.1796~1866) が江戸参府の往復の途中に山口県に計2回上陸して調査していたことを、その調査した植物名とともに紹介した。

④ 「七つのふしぎな植物たち」

今回は、植物のふしぎさやおもしろさを特に紹介するコーナーとして、このコーナーを新設した。これは 1.「花のふしぎ」 2.「実や種子のふしぎ」 3.「葉のふしぎ」 4.「腐生・寄生植物のふしぎ」、 5.「食虫植物のふしぎ」 6.「ひっつき虫のふしぎ」 7.「〇〇のふしぎ」の7つをテーマにして、身近な山口県内の興味深い植物を紹介するものである。最後の「〇〇のふしぎ」は、あえてテーマを隠しておいて展示までの謎としたが、当館敷地内で採集した花径の高さが80cmを超える巨大なシロバナタンポポを実物とと



写真17 七つのふしぎ1



写真18 七つのふしぎ2



写真19 七つのふしぎ3



写真20 七つのふしぎ4

もに紹介した。

⑤ やまぐちのすごい植物たち

今回は、県内の天然記念物と自然記念物に絞って紹介した。天然記念物は、前回紹介できなかったもののうち、調査が困難なものを除く国指定天然記念物を9種、県指定天然記念物を23種紹介した（現在は、指定解除のものも含む）。

「自然記念物」は、今回初めて紹介するものである。これは残念ながらあまり知られていないもので、山口県では、県が山口県環境保全条例に基づき、「緑地環境保全地域」10か所とともに33か所を指定しているものである。しかも今のところ、動物や地質鉱物の指定はなく、すべて植物の指定となっている。詳細は、当県のWEBページで確認できる。



写真21 国指定天然記念物



写真22 県指定天然記念物



写真23 県指定自然記念物1



写真24 県指定自然記念物2

⑥ やまぐち周辺の植物さんぽ（中国地方編）

来館者の視野を広げ、より植物への関心を高めるために、山口県から気軽に行くことができる地域として、山口県近県の植物や景観も紹介することとし、今回は山口県より東部に位置する島根県の三瓶山（18種）、鳥取県の大山（10種）、広島県の八幡高原（17種）の植物と美しい景観を紹介した。



写真25 やまぐち周辺2

⑦ 植物っておもしろいね、ふしぎだね！

●鹿児島県（屋久島と種子島）の植物

この展示の半年ほど前の2024年9月末に鹿児島県の屋久島と種子島を訪問した。

それぞれ短時間の訪問ではあったが、現地ならではの植物も含めて撮影することができたので、今回の展示の興味づけの1つとして紹介した。

屋久島では、台風の被害で予定したコースをまわれず、島のふもとでは晴れていたが標高1,000mほどの地点に行くと大雨にたたられ、逆に屋久島の自然の厳しさを痛感することができた。しかし、撮影にも厳しい環境であった。

標高の低い種子島では、天候にも恵まれ、海岸やJAXAの宇宙センター内でも撮影することができた。宇宙センター内で撮影した画像の利用については念のため確認したが、特に問題はないとのことであった。屋久島は15種、種子島は13種紹介した。



写真26 屋久島の植物



写真27 種子島の植物

●世界のふしぎな植物たち

植物への興味・関心を高めるものとして、今回も世界のおもしろい、ふしぎな植物の実（タネ）の実物を展示した。これは、一部は当館所蔵のものもあるが、大部分は趣味で集めたもので、講座や出前授業でも活用している私的なコレクションである。計11種を展示した。



写真28 世界の植物1



写真29 世界の植物2

●なっとくんの「やまぐち植物カルタ」

前回の企画展で作製した、山口県内の植物だけで50音そろえた、なっとくんの「やまぐち植物カルタ」は、大変好評であったので今回も体験できるようにして展示した。

販売してほしいとの要望も多かったが、今のところ出前授業でのみの利用としており、当館のMT（ミュージアムティチャー）による植物教室や学芸員による地域の植物教室での体験会のときには大変好評である。貸出教材としても対応できるように、セット数を増やして対応している。



写真30 植物カルタ1



写真31 植物カルタ2

●なっとくんからの挑戦状2！「なっとくんの植物クイズ」

主に子どもたちへの工夫として、展示の植物名などを利用して、プレゼント付きの植物クイズを実施した。クイズの用紙と鉛筆と記入用のボードを展示室入口に設置し、参加賞として今回は自作の「なっとくんの植物カード（全10種類）」を準備して賞品にした。期間中に延べ196名の参加があった（参加賞の配布数より）。

●その他の展示（本、標本、掲載コラム）

自作の植物カルタやクイズとは別に、牧野太郎関連の本や冊子、これまでに自作してきた植物情報「なっとくんの緑のたより」「なっとくんの緑の小話」などを展示した。

展示室内では、植物展示の雰囲気を出すためとユニバーサルデザインを考慮して、直接手に取ってさわることができるダイオウショウの標本を置き、セミや鳥の鳴き声を人感センサーで流す工夫をした。

また、カルタもクイズも難しい幼い年齢層などのことも考えて、「なっとくんのぬり絵（植物版）」を2種類用意して、展示見学の思い出として持ち帰ることができるように配慮した。



写真32 その他の展示1（関連本など）



写真33 その他の展示2（関連本など）

「なっとくん」からの挑戦状 2 (クイズ)

ちようせんじよう

なっとくん植物カードをプレゼント!(数量限定)

企画展「やまぐち植物さんぽ【その2】」 答えは展示を見てさがしてね!

■①～⑧の地名や植物名を下かえらび、下のマス目に答えてください。

①

植物名(小笠原諸島だけのシダ)

②

植物名(見島などの海岸で咲く)

③

植物名(枝や幹に花や実がたくさん)

④

植物名(国の天然記念物の巨木)

⑤

植物名(寂地山など高い山だけ)

⑥

植物名(白くて木の根元に見られる)

⑦

植物名(広島県の湿原で紫色の花)

⑧

地名(セント・シーボルト上陸の地の碑がある島)

ぼくの名まえは、「なっとくん」だよ!

<解答を選ぶところ・・・下の中から正解の「記号(ひらがな)」をえらんでね>

あ:見島	と:川棚のクスの森	ん:ヒメタニワタリ	か:アヤメ	は:ハマウツボ
さ:カタクリ	い:スマレ	ね:大日比ナツミカン原樹	と:ノキシノブ	け:角島
し:ギンリョウソウ	く:周防大島	な:カキツパタ	う:アコウ	よ:ハマベノギク

①～⑧の答えの記号(ひらがな)を順番にメモしよう!

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
---	---	---	---	---	---	---	---

★①～⑧の言葉を下のマス目に並びかえて、正解の言葉をつくろう!

⑦	④	⑧	⑤	①	⑥	②	③
つ	ん	と	ぼ				

答えができたら、帰りに2階の受付に提出してください。正解なら、ぼく【なっとくん】に
関係するちょっとしたプレゼントがもらえるよ! (数に限りがあります。お一人様1枚限り。)

図1 なっとくんの植物クイズ (なっとくんからの挑戦状2)

4 関連イベント

(1) 植物に関するミニ体験

今回も、ミニ体験として「世界のふしぎな実やタネにふれよう!」を期間中に展示会場で不定期に開催した。不定期にしたのは、予告すると狭い会場で多人数に対応できないことと、予約制にした場合の職員の負担軽減を図るためである。結果的には、こちらの都合で土日の当番出勤日などに実施直前に開催日時を決めることができ、来館者の多い時間帯などの様子

を見て対応することもできたので、担当としても負担感が少なく、来館者からもサプライズ的なお得感のあるイベント体験として大変好評であった。

「世界のふしぎな実やタネにふれよう！」は、延べ18回開催して計346人（前回は14回で228人）の参加であった。

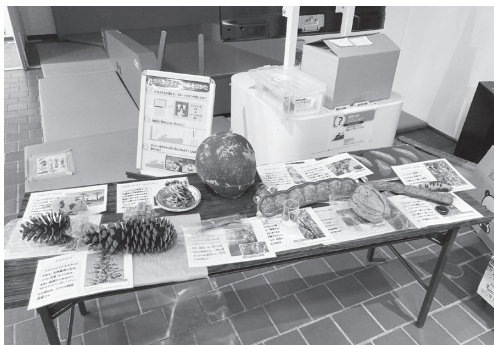


写真34 ミニ体験1



写真35 ミニ体験2

(2) 教育普及講座

期間中の5月31日(土)に、「葉脈標本のしおりやミニ図鑑をつくろう！」の教育普及講座を開催した。終了後に企画展見学をした（参加者6組18名）。



写真36 教育普及講座1



写真37 教育普及講座2

5 おわりに

この企画展自体は、2024年度の企画展のタイトルに【1】をつけていたように、今回のような続編を想定していたものであるが、2年連続の企画展となることは想定外であり、館内の諸事情によって引き受けたものの、実際に開催するとなるとなかなか時間的にも内容的にも厳しいものがあつた。というのは、生物系の展示の宿命ではあるが、調査の季節がかなり限定されるからである。これまでの調査で標本や画像を収集してきてはいたが、実際に展示するとなると、花がない、実がない、花があっても肝心なところがよく映っていない、葉の裏側が見えない、など問題が山積みで、すでに春から夏の最も調査にふさわしい季節が終了していたこともあり、展示を断念した植物も数多くある。また、さらに困ったのが、当館の本館の老朽化による空調工事のために2024年の12月から開催直前の2025年3月まで本館全体の暖房が効かず、休

館にはなったが、その間ストーブを設置した職員の共用部屋以外は極寒で、展示室や研究室などはとても仕事どころではない環境となってしまったことである。そんな中で、別館の講座室などを優先的に利用させてもらいながら準備を続け、どうにか開催にこぎつけることができた。

毎回のことであるが予算的にも非常に厳しいものがあり、当館では企画展の予算としては特に計上はされていない。そのためそれなりの規模の展示であるにも関わらず、マスコミを利用しての宣伝どころか、これまで企画展用のポスター、チラシの印刷配布もされてこなかった。そのため、前回のこの植物さんぽ【1】の時から入口の看板設置を中止し、その費用でポスターを作成し配布することを始めた。

展示では、今回も入口の大画面での動画をはじめ、それぞれのコーナーでは最大限モニターを活用した視覚に訴える展示を工夫した。このように全体でわずか約143㎡しかない本展の展示室で用いたプロジェクターは2台、モニターは大型のもの（サイネージ）が3台、小型のものが8台となり、当館で展示に使える映像機器をフルに活用した。メインの展示も色あせた標本より鮮やかな色調の画像を多用し、このような画像や映像を多用した展示は、苦肉の策ではあるが、植物の展示ではあまり例がないと思われる。

こうすることで、単なる植物の展示というだけでなく大きく視野を広げ、同時にそれぞれの植物の生育する地域の素晴らしさにふれることができ、ふるさと「やまぐち」を改めて見直す機会にもなったと考えている。

また、今回も明治時代の偉大な植物研究者たちの標本に触れることによって、100年以上も前からのこうした地道な努力が続けられ、それらのおかげで100年以上も前の日本の植物の様子が手に取るようにわかることから、植物標本は単なる植物体ではなく過去から現在をつなぐ貴重な財産となっていることも知ってもらうことができたと感じている。

今回、2年連続で企画展を開催したが、2024年度の年度末に他の分野（考古）の調査に同行する機会を得て、新たに県内の海岸や島嶼部を数か所調査することができた。また、2025年度中には、四国の石鎚山や四国カルストの調査によく行くことができ、さらに同じく山口県からすると南方にあたる和歌山県の海岸にも調査に行く機会を得た。他にも随時県内各地の調査を進めており、新たな企画展が開催できるだけの資料がそろいつつある。そのため、今回のさらに続編として2027年度に【その3・総集編】を開催できるように計画を進めているところである（2025年度末現在）。また、和歌山県などの調査の際に、今回展示した植物研究者についての新たな情報交換を進めることができたので、そのあたりの新たな調査や展示についても今後検討を進めていく予定である。

なお、「参考資料」としても掲載しているが、前回の企画展同様に、今回の企画展も当館のWEBサイト上で「バーチャル博物館」として公開している。また展示した資料を中心に今回新たに確認できた明治時代などの貴重な標本については、同じく「バーチャル収蔵庫」において公開している（それぞれ当館WEBサイトのトップページのバナーからリンク）。

最後になりますが、関連する当館所蔵の植物標本の調査や整理に協力していただいた当館の植物サポーターの皆さん、フォーリーの画像や情報を快く提供していただいた京都大学総合博物館（京都市）、南方熊楠や宇井縫蔵の植物標本について情報提供をいただいた南方熊楠顕彰館（和歌山県田辺市）、撮影画像の使用を許可していただいた鹿児島県種子島や屋久島などの各施設を始め、関係各位に深く感謝申し上げます。

<参考資料>

- 当館のバーチャル収蔵庫へのリンク

山口博物館の しゅうぞうこ み
バーチャル収蔵庫を見てみよう!
しよくぶつ ぜつめつ き ぐ しゆ めいじじだい ひょうぼん しょうかい
植物のページでは、絶滅危惧種や明治時代の標本を紹介
バーチャル収蔵庫は、当館のホームページからご覧いただくことができます。パソコンやタブレット・スマートフォンなどから当館のトップページの「バーチャル収蔵庫のバナー」をクリックしてください。
バーチャル収蔵庫の
トップページへ
バーチャル収蔵庫
「植物」のページへ
当館ホームページの
トップページへ

図2 バーチャル収蔵庫

- バーチャル山口博物館「やまぐち植物さんぽ【I】（その1）」へのリンク
バーチャル企画展として、当館WEB上で今回の企画展の画像を公開している。

2024年の企画展「やまぐち植物さんぽ【I】（その1）」もご覧ください。
やまぐち植物さんぽ【I】
～植物さんぽもいろいろおもしろい!～
企画展 令和6年4月25日～6月16日
山口博物館の
ホームページへ
バーチャル山口博物館の
2024 企画展（植物）のページ
「やまぐち植物さんぽ【I】
（その1）」の展示内容を画
像や映像（バーチャル）で見
ることができるよ!

図3 バーチャル山口博物館

1 初公開！明治時代からの「お宝」植物標本

種名	採集時期	採集者(場所)	種本
① 植物研究の偉人たちの植物標本			
1 ヒロハアツイタ	?	南方熊楠	●
2 ハカタシダ	1911年	宇井穰蔵	●
3 ノキノブ	1918年	宇井穰蔵(?)	●
4 クスノキ	1925年	牧野富太郎	★
5 カゴノキ	1919年	牧野富太郎	★
6 ウサギシダ	1913年	フォーリー	●
7 イワウサギシダ	1915年	フォーリー	●
8 カンワ	1905年	中井猛之進	●

種名	採集時期	採集者(場所)	種本
② 明治時代に全国で採集された貴重な植物標本			
1 ハマジンショウ	1899年	? (小笠原)	●
2 ヒメタニワタリ	1899年	? (小笠原)	●
3 ヤシヤマアオキ	1899年	? (小笠原)	●
4 キバナノコマノツメ	1902年	? (立山)	●
5 ホソバヤマハッカ	1902年	? (白山)	●



★バーチャル山口博物館の「やまぐち植物さんぽ【I】(その1)」のページへ



山口博物館「バーチャル収蔵庫」へ



「レッドデータブックやまぐち2019」へ



山口県の文化財トップページへ



山口県の自然記念物などのページへ

<展示数>
【延べ数：画像約323種・約900点
(すべて担当撮影)、
標本34点、映像13点】

※●はさく葉(押し葉)標本(★は牧野富太郎)
※■はドライフラワー
※他に植物カルタ44種

学名は「米倉浩司・梶田忠(2003)『BG Plants 和名-学名インデックス』(YLlist)、http://yl.list/」による

3 やまぐちあちこち植物さんぽ

種名	撮影月	撮影場所	種本
1 オオオナモミ	10	上関	
2 オオバシヤブシ	3	上関	■
3 オカヒジキ	10	上関	
4 カジイチゴ	5	上関	
5 コウボウシバ	5	上関	
6 コウボウムギ	5	上関	
7 ノジギク	11	上関	
8 ツルナ	3	上関	
9 トベラ	5	上関	
10 ノイバラ	5	上関	
11 ノジギク	11	上関	
12 ハマアカサ	10	上関	
13 ハマウド	6	上関	
14 ハマエンドウ	5	上関	
15 ハマダイコン	6	上関	
16 ハマゴウフウ	5	6	上関
17 ヒメズリハ	6	上関	
18 マンテマ	6	上関	
19 ヤタシソウ	11	上関	■
20 アカメガシワ	7	周防大島	
21 アキノミチヤナギ	8	周防大島	
22 イワヒバ	7	周防大島	
23 ウメガシ	10	周防大島	
24 オオキバナカタバミ	2	周防大島	
25 オカトラノオ	7	周防大島	
26 シランバイ	6	周防大島	
27 ジュズダマ	10	周防大島	
28 シロバナマンテマ	6	周防大島	
29 セトウチキゴウシ	9	周防大島	
30 テリハノイバラ	6	周防大島	
31 トベラ	1	周防大島	
32 ノアサガオ	8	周防大島	
33 ハマウド	7	周防大島	
34 ハマエンドウ	4	周防大島	■
35 ハマゴウ	7	周防大島	
36 ハマナデシコ	7	周防大島	
37 ハマビワ	4	周防大島	
38 ハマゴウフウ	6	周防大島	
39 ハマゴッス	6	周防大島	■
40 ハマツツナ	10	周防大島	■
41 ムベ	4	周防大島	
42 マヤグワ	6	周防大島	
43 ヤマモモ	4	周防大島	
44 アラゲヒョウタンゴク	6	寂地山	
45 エイザンスミレ	5	寂地山	
46 エンレイソウ	5	寂地山	
47 オオミヤマガマズミ	6	寂地山	
48 オオヤマレンゲ	6	寂地山	
49 カタクリ	5	寂地山	
50 クサアジサイ	8	寂地山	
51 ショウキラン	6	寂地山	
52 タチカメバソウ	5	寂地山	
53 ツツラフジ	8	寂地山	
54 トケンラン	6	寂地山	
55 ニリソウ	5	寂地山	
56 ノブキ	8	寂地山	
57 フナ	6	寂地山	■
58 ミヤマカタバミ	5	寂地山	
59 ミヤマシキミ	5	寂地山	
60 ヤマトウバ	8	寂地山	
61 ワチガイソウ	5	寂地山	
62 オオカワヂシャ	5	見島	
63 クルバマアカネ	11	見島	
64 コウボウムギ	5	見島	■
65 トウダイグサ	5	見島	
66 トベラ	5	12	見島

種名	撮影月	撮影場所	種本
67 ナルコユリ	5	見島	
68 ノジギク	11	見島	
69 ハゼラン	11	見島	
70 ハマベノギク	12	見島	
71 ハマゴウフウ	5	12	見島
72 ハマゴッス	5	12	見島
73 ホソバウダン	12	見島	
74 マンテマ	5	見島	■
75 ミヤコグサ	5	見島	
76 ムサシアブミ	5	見島	
77 ルリハコベ	5	見島	
78 アキノキリンソウ	1	青海島	
79 カクレミノ	10	青海島	
80 シランバイ	10	青海島	
81 タチバナ	1	青海島	
82 ダルマガキ	10	青海島	
83 ハマナデシコ	10	青海島	■
84 ヒメズリハ	10	青海島	
85 フウラン	7	青海島	
86 ホソバウダン	10	青海島	
87 キジカクシ	1	笠山	
88 シバナ	9	笠山	
89 テリハノイバラ	1	笠山	
90 ネナシカズラ	9	笠山	
91 パクチノキ	1	笠山	
92 ハマゴッス	1	笠山	
93 フウトウカズラ	6	笠山	
94 ヤブツバキ	1	笠山	
95 ニオウヤマオ	9	笠山	
96 オカヒジキ	7	清々浜	
97 カワラヨモギ	9	清々浜	■
98 クコ	7	清々浜	■
99 ケカモノハシ	7	9	清々浜
100 コオユリ	7	清々浜	
101 コメツブツメクサ	5	清々浜	
102 テンギクサ	8	清々浜	
103 ハマゴウ	8	清々浜	
104 シロバナタンポポ	12	萩城周辺	
105 タイトゴメ	6	萩城周辺	
106 タブノキ	5	萩城周辺	
107 ノイバラ	5	萩城周辺	
108 ハマウド	6	萩城周辺	
109 ハマヒルガオ	5	萩城周辺	
110 ハマゴウフウ	5	萩城周辺	■
111 マデバシイ	6	萩城周辺	
112 ミドリヨシノ	3	萩城周辺	
113 アキチヨウジ	11	長門峡	
114 イタバカズラ	1	長門峡	
115 ウツギ	5	長門峡	
116 エビツル(特 ^ホ)	10	長門峡	
117 オニグルミ	6	長門峡	■
118 キエビネ	5	長門峡	
119 キッコウハグマ	11	長門峡	
120 ギンリョウソウ	5	長門峡	
121 クノミズキ	6	長門峡	
122 コショウノキ	2	長門峡	
123 サツマイナモリ	2	長門峡	
124 セッコク	6	長門峡	
125 センダン	5	長門峡	
126 ダイモンジソウ	11	長門峡	
127 チトセカズラ	1	長門峡	
128 マタタビ	6	長門峡	■
129 マルハノホロシ	11	長門峡	
130 ミスタヒラコ	11	長門峡	
131 ヤブムラサキ	11	長門峡	
132 ルリミノキ	11	長門峡	

※ 上関【シーボルト】アラカシ(■)・コジイ(■)・グミ 周防大島【シーボルト】トベラ、ツツブキ、マツ、マサキ

図4 展示物一覽1

4 七つのふしぎな植物たち

種名	種類	月	撮影場所	標本
1 アコウ	花	8	周南市	■
2 イカノウ	花	5	山口市	
3 エノキグサ	花	9	下松市	
4 カラスウリ	花	9	山口市	
5 キカラスウリ	花	8	下関市	
6 サキノウ	花	8	山口市	
7 サンヨウアオイ	花	5	美祿市	
8 ナンゴウラシマソウ	花	5	山口市	
9 ヤマジノホトトギス	花	7	周南市	
10 オアザリ	実	11	周南市	■
11 オキナグサ	実	5	美祿市	
12 ジャケツイバラ	実	12	美祿市	
13 センニンソウ	実	12	山口市	■
14 ツリバナ	実	10	岩国市	
15 フナバラソウ	実	9	美祿市	
16 ヤマグチナンショウ	実	10	山口市	
17 カクレミノ	葉	1	周防大島町	
18 タラヨウ	葉	10	光市	
19 ダルマギク	葉	11	下関市	
20 ネコシタ	葉	8	下関市	
21 ハス	葉	8	周防大島町	
22 ハナイカダ	葉	4	周南市	
23 マタタビ	葉	6	山口市	
24 ヤレガサ	葉	4	岩国市	
25 ギンシラソウ	腐生	4	周南市	
26 ギンリョウウモドキ	腐生	9	周南市	
27 ショウキラン	腐生	6	岩国市	
28 ムヨウラン	腐生	8	山口市	
29 ナンバンギセル	寄生	9	美祿市	
30 ネナシカズラ	寄生	9	光市	
31 ハマツツボ	寄生	5	下関市	
32 ママナ	寄生	5	光市	
33 ミヤマママコナ	寄生	8	周南市	
34 ヤドリギ	寄生	11	秋田市	
35 タヌキモ (のなかま)	食虫	9	下松市	
36 ホザキミミカキグサ	食虫	8	山口市	
37 ミミカキグサ	食虫	8	山口市	
38 モウセンゴケ	食虫	7	宇部市	
39 アメリカセンダングサ	ひっつき	10	山口市	
40 イノコヅチ	ひっつき	9	山口市	
41 オオオナモミ	ひっつき	10	上関町	
42 ガンクビソウ	ひっつき	10	周南市	
43 キンミズヒキ	ひっつき	8	山口市	
44 コメナモミ	ひっつき	9	防武町	
45 ダイコンソウ	ひっつき	10	山口市	
46 チカラシバ	ひっつき	10	山口市	
47 チヂミザサ	ひっつき	9	山口市	
48 スズヒトギ	ひっつき	9	山口市	
49 ハエドクソウ	ひっつき	9	山口市	
50 ミズヒキ	ひっつき	7	山口市	
51 ヤエムグラ	ひっつき	5	山口市	
52 ヤブジラミ	ひっつき	5	山口市	
53 ヤブニンジン	ひっつき	4	美祿市	
54 シロバナタンポポ	〇〇	5	山口市	

世界の植物の実(タネ)

種名	資料の内容
1 アフゼリアナフリカーナ	種子
2 アルソミトラ (ほたけ)	実
3 オオバホガニー	実
4 オオミヤシ	実
5 カエンボク	実
6 サキシマスオウノキ	実
7 ザクロ	実
8 ツノコマ	実
9 ナガエガシ	実
10 ヒシ・オニビシ	実
11 モクマオウ (わがわ ちり)	実

5 やまぐちのすこい植物たち

種名	撮影月	場所	現物 撮影	標本
国指定「天然」記念物				
1 川根のクスの森	9	下関市	〇	
2 満珠樹林 (陸に近い方)	2	下関市	〇	
3 干珠樹林 (陸から遠い方)	2	下関市	〇	
4 小串エヒメヤマメ自生南限地帯	4	下関市	〇	
5 恩徳寺の結びイブキ	10	下関市	〇	
6 笠山コウライタチバナ自生地	1	萩市	〇	
7 川上のユズおよびナンテン自生地	1 5	萩市	〇	
8 指月山	5 12	萩市	〇	
9 大日比努ツミカン原樹	1 5	長門市	〇	
県指定「天然」記念物 (*印は、現地の植物画像がないもの)				
1 八島与崎のカシワ・ビャクシン群落	7 5	上関町	*	
2 常満寺の大イチョウ	10	上関町	〇	
3 祝島のケグワ	10	上関町	*	
4 牛島のモクゲンジ群生地	9	光市	*	■
5 須方風呂ヶ原のエノキ	8	周南市	*	
6 秘窓尾の水見神社社叢	6	周南市	*	
7 水無瀬島のアコウ自生地帯	8	周防大島町	〇	
8 正福寺のイブキ	11	山口市	〇	
9 妙見寺の大イチョウ	5	山口市	〇	
10 山口市総煙のノハナショウブ自生地	6	山口市	〇	
11 秋徳二島のアラカシ	1	山口市	〇	
12 仁保のクワ	11	山口市	〇	
13 舟山八幡宮のチヤノキ	5	山口市	〇	
14 岩国市二徳のシャクナゲ群生地	5	岩国市	*	
15 大原のシャクナゲ群生地	5	岩国市	*	
16 宇佐八幡宮のスキ巨樹群	8	岩国市	〇	
17 通津のイヌマキ巨樹	5	岩国市	〇	
18 吉香公園のエンジュ	6	岩国市	〇	
19 岩国市柿町一丁目のクスノキ巨樹群	5	岩国市	〇	
20 宿井のハゼノキ	6 12	田布施町	〇	
21 若月家の臥竜松	10	防府市	〇	
22 防府市向島の寒桜	3	防府市	〇	
23 老松神社のクスノキ	9	防府市	〇	
県指定「自然」記念物				
1 熊田溜池のミツガシワ群落	5	阿武町	〇	
2 二反田溜池のカキツバタ群落	5	美祿市	〇	
3 花尾八幡宮樹林	10	山口市	〇	
4 中須八幡宮樹林	10	周南市	〇	
5 玉祖神社樹林	9	防府市	〇	
6 亀島ウバメガシ群落	10	周防大島町	〇	
7 下田八幡宮樹林	1	周防大島町	〇	
8 徳佐八幡宮樹林	10	山口市	〇	
9 長尾八幡宮樹林	10	周防大島町	〇	
10 二俣神社樹林	10	周南市	〇	
11 二井寺山極楽寺樹林	11	岩国市	〇	
12 楳辻八幡宮樹林	11	岩国市	〇	
13 飛龍八幡宮樹林	10	周南市	〇	
14 東奇神社樹林	10	光市	〇	
15 ミヤマウモドキ群落	9	阿武町	〇	

6 やまぐち周辺の植物さんば

種名	撮影月	撮影場所	県名
1 アカショウマ	6	三瓶山	島根
2 アキノタムラソウ	8	三瓶山	島根
3 イヨフクロ	9	三瓶山	島根
4 エゾミノハギ	8	三瓶山	島根
5 オトギリソウ	8	三瓶山	島根
6 オミナエシ	8	三瓶山	島根
7 カシワ	6	三瓶山	島根
8 キキョウ	8	三瓶山	島根
9 クロバナセキオコシ	9	三瓶山	島根
10 コアジサイ	6	三瓶山	島根
11 ササユリ	6	三瓶山	島根
12 シモツク	9	三瓶山	島根
13 ツリフネソウ	9	三瓶山	島根
14 ツルアジサイ	6	三瓶山	島根
15 ヒロハノカワラサイコ	6	三瓶山	島根
16 ホツツジ	8	三瓶山	島根
17 ヤマアジサイ	6	三瓶山	島根
18 ヌスゲ	6	三瓶山	島根
19 アカバナ	10	八幡高原	広島
20 アケボノソウ	9	八幡高原	広島
21 イシミカワ	10	八幡高原	広島
22 オオカラコウ	9	八幡高原	広島
23 カキツバタ	5	八幡高原	広島
24 カンボク	5 10	八幡高原	広島
25 クラムムグラ	5	八幡高原	広島
26 サラシナショウマ	9	八幡高原	広島
27 サウオグルマ	5	八幡高原	広島
28 タンナトリカブト	9	八幡高原	広島
29 ビッチュウフクロ	9	八幡高原	広島
30 マアザミ	9	八幡高原	広島
31 マツムシソウ	9	八幡高原	広島
32 マユミ	10	八幡高原	広島
33 ミヅアケビ	5	八幡高原	広島
34 リンドウ	10	八幡高原	広島
35 フレモコウ	9 10	八幡高原	広島
36 イヌエンジュ	8	大山寺周辺	鳥取
37 ウリハダエデ	5	大山寺周辺	鳥取
38 クラムバソウ	8	大山寺周辺	鳥取
39 コロンソウ	5	大山寺周辺	鳥取
40 サワオトギリ	8	大山寺周辺	鳥取
41 タニウツギ	5	大山寺周辺	鳥取
42 ハルニレ	5	大山寺周辺	鳥取
43 ホツバナヤマハハコ	8	大山寺周辺	鳥取
44 ヤマホタルアブク	8	大山寺周辺	鳥取
45 ルイヨウショウマ	5	大山寺周辺	鳥取

7 植物っておもしろいね (屋久島・種子島の植物)

種名	撮影月	撮影場所	県名
1 ウラジロ	9	屋久島	鹿児島
2 コケシノブのなかま	9	屋久島	鹿児島
3 スギ (千年杉: 屋久スギ)	9	屋久島	鹿児島
4 スギ (双杉形: 屋久スギ)	9	屋久島	鹿児島
5 ツガ (くぐり桐)	9	屋久島	鹿児島
6 ヒメシャラ	9	屋久島	鹿児島
7 ヒメノキシノブ (?)	9	屋久島	鹿児島
8 ミズスギ	9	屋久島	鹿児島
9 ムチゴケのなかま	9	屋久島	鹿児島
10 ヤクシマ (ヒメ) タカノハラボシ (?)	9	屋久島	鹿児島
11 ヤクシマアジサイ (ヤクシマアジサイ)	9	屋久島	鹿児島
12 アオノタケクマラン	9	屋久島	鹿児島
13 オオバナノ (好774) センダングサ	9	屋久島	鹿児島
14 ヒメマツバボタン	9	屋久島	鹿児島
15 リュウビンタイ	9	屋久島	鹿児島

種名	撮影月	撮影場所	県名
1 アコウ	9	種子島	鹿児島
2 オキナワハイズ	9	種子島	鹿児島
3 ガジュマル	9	種子島	鹿児島
4 キンゴジカ	9	種子島	鹿児島
5 シマニシキソウ	9	種子島	鹿児島
6 ソテツ	9	種子島	鹿児島
7 ソナレムグラ	9	種子島	鹿児島
8 ネコシタ	9	種子島	鹿児島
9 ハマゴウ	9	種子島	鹿児島
10 ヒロウ	9	種子島	鹿児島
11 マチバシイ	9	種子島	鹿児島
12 メルギ	9	種子島	鹿児島
13 モンバナノキ	9	種子島	鹿児島

図5 展示物一覽2

6 参考文献

今回の企画展開催にあたり、以下の文献を参考にした。

A. ジーボルト (著) (斎藤信 訳). 2006. 江戸参府紀行. 平凡社. 東京

- 阿部 正敏（著）. 1988. 葉による野生植物の検索図鑑. 誠文堂新光社. 東京
- いがりまさし（著）. 2007. 日本の野菊. 山と溪谷社. 東京
- 岩瀬 徹、大野啓一（著）. 2004. 写真で見る植物用語. 図書印刷. 東京
- 岩瀬 徹、川名 興、飯島和子、（著）. 2015. 全農教観察と発見シリーズ 深・雑草博士図鑑. 全国農村教育協会. 東京
- 植村 修二、勝山輝男、清水矩宏、本田光雄、森田弘彦、廣田伸七、池原直樹（編・著）. 2010. 増補改訂日本帰化植物写真図鑑第2巻. 全国農村教育協会. 東京
- 海老原淳（著）. 日本シダの会. 2016. 日本産シダ植物図鑑Ⅰ・Ⅱ. 学研プラス. 東京
- 大川智史、林 将之（著）. 2016. ネイチャーガイド琉球の樹木. 文一総合出版. 東京
- 岡 国夫ほか（編）. 1972. 山口県植物誌. 山口県植物誌刊行会. 山口
- 奥田 重俊（編）. 1997. 日本野生植物館 小学館. 東京
- 桶川修、大川晃一（著）. 2020. くらべてわかるシダ. 山と溪谷社. 東京
- 小幡和男、岩瀬 徹、川名 興、飯島和子、宮本卓也（著）. 2020. 全農教観察と発見シリーズ 樹木博士図鑑. 全国農村教育協会. 東京
- 門田 裕一（監修）. 2013. 野に咲く花増補改訂新版. 山と溪谷社. 東京
- 門田 裕一（監修）. 2013. 山に咲く花増補改訂新版. 山と溪谷社. 東京
- コロナ・ブックス編集部. 2017. 牧野富太郎 植物博士の人生図鑑. 平凡社. 東京
- 佐川義輔、大井次三郎、北村四郎、亘理俊次、富成忠夫（編）. 1982. 日本野生植物図鑑草本Ⅰ 単子葉類・草本Ⅱ 離弁花類. 平凡社. 東京
- 佐川義輔、大井次三郎、北村四郎、亘理俊次、富成忠夫（編）. 1981. 日本野生植物図鑑草本Ⅲ 合弁花類. 平凡社. 東京
- 佐川義輔、原 寛、亘理俊次、富成忠夫（編）. 1989. 日本野生植物図鑑 木本Ⅰ・木本Ⅱ. 平凡社. 東京
- 清水健美（編）. 2003. 日本の帰化植物. 平凡社. 東京
- 清水矩宏、森田弘彦、廣田伸七（編・著）. 2001. 日本帰化植物写真図鑑. 全国農村教育協会. 東京
- 高橋 秀男他（監修）. 2001. 樹に咲く花. 山と溪谷社. 東京
- 中西弘樹（著）. 2018. 日本の海岸植物. トンボ出版. 大阪
- 林 将之（解説・写真）. 2014. 樹木の葉. 山と溪谷社. 東京
- 林 将之、名嘉初美（著）. 2022. 沖縄の身近な植物図鑑. ボーダーインク. 沖縄
- 林 弥栄（編）. 2011. 日本の樹木 合弁花・単子葉・裸子植物. 山と溪谷社. 東京 山と溪谷社. 東京
- 牧野富太郎（著）. 1984. 学生版原色牧野日本植物図鑑. 北隆館. 東京
- 牧野一淳（監修）. 四條たか子（著）. 2023. 牧野富太郎と寿衛. 宝島社. 東京
- 松居竜五・田村義也（編）. 2012. 南方熊楠大事典. 勉誠出版. 東京
- 南 敦（著）. 2014. ふるさとの花. 中村印刷. 山口
- 山口県野生生物保全対策検討委員会. 2002. レッドデータブックやまぐち. 山口県環境生活部 自然保護課.
- 山口県野生生物保全対策検討委員会. 2019. レッドデータブックやまぐち. 山口県環境生活部 自然保護課. 山口(Web)